

マスターデータ品質の 重大な問題を回避するための 参考データ管理戦略

利点

- ・ 業務担当者が競争優位性/コンプライアンス上の優位性を獲得できるセルフサービス環境
- ・ 運用面の負担を解消してコストと時間を削減
- ・ 拡張可能なクラウドベースのソリューションによりMDMイニシアチブの効果を最短期間で最大化

全社レベルで360度ビューを確立、ガバナンスとコンプライアンスを簡素化

ルックアップ値、参照コード、コードテーブル、参照階層等々、参考データ (Reference Data) にはさまざまな呼び名があります。しかし、呼び名が何であれ、参考データから真の価値を引き出すためには、一般的なコードタイプを戦略的に管理することが不可欠です。確固とした参考データ管理戦略を確立することで、レポート作成、法規制へのコンプライアンス、トランザクション、保有データの把握などに悪影響を及ぼす、データ品質に関わる重大な問題を回避できます。

Informatica® MDM-Reference 360によって、顧客、製品、サプライヤーに関する一般的な参考データを簡単に最大活用することが可能になります。なによりも、Reference 360のセルフサービス式のモジュールによって、ガバナンス担当者は大量のリソースが必要なITリリース管理サイクルを通さずに、新しい参考データセット/ルールを定義できます。

MDM-Reference 360は、マスターデータを基盤とする業界先進の完全なクラウド対応アプリケーションです。簡単にセットアップして参考データのライフサイクル全体を管理できるだけでなく、業務担当者向けのセルフサービス機能も提供します。

このソリューションの特長は次のとおりです。

- ・ 業務担当者も使いやすいカスタマイズ可能なユーザーインターフェイス
- ・ 業務担当者による参考データのセルフサービス管理が可能
- ・ 役割に基づいた承認とパブリッシュのワークフロー
- ・ インポート、階層管理、バージョン管理、エクスポート機能を備えた完全なライフサイクル管理
- ・ クラウドの柔軟性と俊敏性

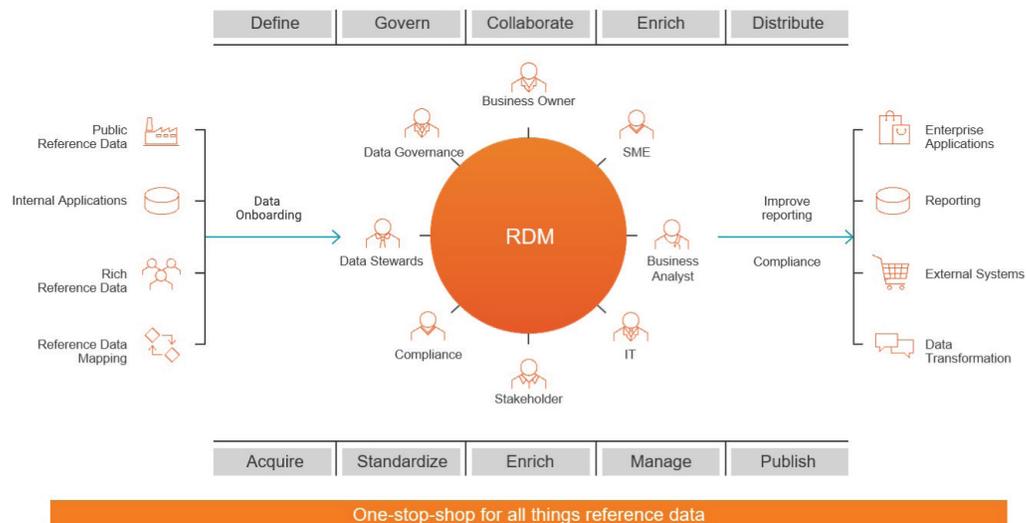


図1：Reference 360により、運用担当者やアナリティクス担当者、アプリケーション向けに企業参考データを一元化できます。

主な機能

クラウド環境で完全な機能を提供

複雑な参考データ情報をクラウド環境で一元管理するために必要なパフォーマンス、拡張性、生産性をサポートできるのはインフォマティカだけです。Informatica Intelligent Cloud ServicesSMを通じて提供されるInformatica MDM-Reference 360ソリューションは完全な機能を備え、自動アップグレードとフィックスを通じて最新機能と強化機能を提供します。

モジュール式のエンドツーエンドのデータプラットフォーム

MDM - Reference 360は、導入企業のペースに合わせて拡張していくことができます。業務担当者とデータスチュワード向けに構築されているMDM - Reference 360は、業界唯一のモジュール式のエンドツーエンドデータ管理プラットフォームであるInformatica MDMをベースに、業界最高の照合／統合機能、データ品質／ガバナンス、データ統合、ビジネスプロセス管理、データセキュリティ、DaaS（サービスとしてのデータ）のすべてを統合した単一のソリューションを提供します。

真の360度ビュー

MDM-Reference 360により、自社にとって重要な参考データを一元化できます。業界に特化したデータコネクタとアダプターで、医療機関（HCO）、医療プロバイダー（HCP）、医療費支払者などに関する社内外のデータソースのデータを標準化、クレンジング、結合できます。ダッシュボードとグラフを活用した視覚化機能により、セルフサービスポータルを通じて、各業界に特化した有意義なデータを業務担当者に提供できます。

インフォマティカについて

デジタルトランスフォーメーションによって我々の期待値が変化しています。より良いサービスを、素早く、便利に、低コストで利用したいという期待が高まっているのです。企業も状況に応じて変化する必要があります。そしてそのヒントは「データ」にあります。

エンタープライズ向けクラウドデータ管理で世界をリードするインフォマティカは、俊敏性の向上、新たな成長機会の獲得、新しいソリューションの開発を実現するための洞察を通じて、あらゆる産業や分野の企業がインテリジェントにビジネスをリードできるよう支援します。インフォマティカは、あらゆるデータを徹底的に重視し、企業の成功に必要なとされる汎用性を提供します。

インフォマティカは、企業がこれからのインテリジェントな破壊的イノベーションを推進できるよう、当社が提供するあらゆるサービスを通じてデータの力を継続的に引き出すことを支援します。

主なメリット

業務担当者の効率向上

堅牢性、柔軟性、信頼性に優れたフレームワークにより、参考データの360度ビューを全社レベルで確立することで、競争優位性を獲得し、コンプライアンスを確保できます。セルフサービス式の使いやすいインターフェイスにより、業務責任者は参考データセット、階層、クロスワークから真の価値を引き出すことができます。MDM-Reference 360は、参考データセットの複雑なライフサイクルを管理するための、柔軟性と拡張性に優れたエンタープライズ対応のエンドツーエンドソリューションです。

ガバナンスとコンプライアンスの簡素化

参考データセットを定義および管理し、そのセキュリティを確保することで、法規制やトランザクションへのコンプライアンスに沿って正確なデータを使用できます。エンタープライズアプリケーションにおける参考データの不一致（およびそれに伴う運用面の負担）と、参考データの管理に関連する運用面の負担を排除します。参考データの管理に対するこのように総体的なアプローチにより、参考データの品質を維持し、正確な社外向けレポート、データ交換、公開、エンタイトルメントを実現できます。

クラウドベースのエンドツーエンドガバナンス

カスタマイズ可能な使いやすいダッシュボードで、参考データセットの品質を制御して、ライフサイクル全体を管理できます。これによって参考データの履歴とカタログの管理を簡素化できるだけでなく、カスタマイズ可能なワークフローを用いて参考データのオーサリングを実行できます。MDM-Reference 360はクラウドベースのソリューションなので、MDMイニシアチブの価値も短時間で引き出すことができます。クラウド環境でエンタープライズ規模の拡張性を実現できるように構築されているMDM-Reference 360は、最も高い要件が求められるビジネスイニシアチブをサポートしながら、高い価値を迅速に提供します。



〒105-6226

東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー26階 電話：03-6403-7600（代表）FAX：03-3433-1021

IN17_0220_03333

© Copyright Informatica LLC 2020. Informatica, Informaticaロゴ、およびInformatica Intelligent Cloud Servicesは、米国およびその他の国におけるInformatica LLCの商標または登録商標です。インフォマティカの商標の最新版は、<https://www.informatica.com/jp/trademarks.html>をご覧ください。その他すべての企業名および製品名は、各社が所有する商号または商標です。本文書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあり、現状のまま提供され、明示または黙示を問わず一切の保証を伴いません。